

施策評価管理シート

施策体系	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	2017(平成29)年6月作成	
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり	担当部局名	部局長名
	施 策	1	保健・医療・福祉ネットワーク	福祉子ども部	森嶋 和宏

1. 施策の基本方針 **P**lan

○ 保健・医療・福祉の連携を強化して、住み慣れた地域で生涯にわたり健康で自立した暮らしのできるまちづくりを進め、地域包括ケアシステムの構築を進めます。
 ○ 地域の見守りのネットワークの充実、支え合い助け合いにより、交流やつながりある地域福祉の推進体制を整備し、支援が必要な人が安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。

2. 現状と課題 **P**lan

○ 家庭における世帯人数の減少、特に一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯の増加、地域における近所づきあいの希薄化など家庭や地域における相互扶助機能の低下が問題となっています。
 ○ 誰もがができる限り住み慣れた地域の中で、その人らしい暮らしができるような基盤として、質の高い福祉サービスの提供と、地域における生活についての周囲の人の支援が求められています。
 ○ 地域にある課題は、公的サービスのみでは解決できないものも多くあり、こういった現状に対応していくため、相談・情報提供体制の充実やネットワークの整備による地域での支援体制の構築などが求められます。
 ○ 団塊の世代が労働市場から地域に活動の場を移しつつある中、健康で生きがいをもって生涯現役で活躍できる場づくり（地域における子育て、生活支援、介護などによる社会参加、貢献）が必要となっています。

○ 施策指標（目標）及び達成状況 **P**lan **D**o

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
隣近所や地域の人との交流があると感じている市民の割合（％）	目標	-	-	-	75.0	
	成果	70.9	74.1			78.0%
有償ボランティア等による住民同士の支え合い組織を整備した地域づくり組織の数（地域）	目標	-	-	-	15	
	成果	6	7			11.1%
地域包括ケア会議の開催数（回【延べ数】）	目標	-	-	-	270	
	成果	0	76			28.1%

3. 課題解決への取組内容（平成28年度） **P**lan **D**o

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> 多様化、複合化する課題に包括的な支援を実施するため、関係機関のネットワーク強化等、地域福祉教育総合支援システムの構築を進めます。 地域での支え合い活動支援のため、引き続き有償ボランティア事業への補助を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年11月教福連携サミットを開催し、地域福祉教育総合支援システムの構築に向け、取組を開始しました。エリアディレクター3名を設置し、多様化、複合化する課題の解決に向け、関係する機関が連携した仕組みづくりを進めています。 地域の見守りのネットワーク、支え合い、助け合いの仕組みとして生活支援、外出支援の活動をしている有償ボランティア組織（7地域）への支援を引き続き実施しました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 **C**heck

家庭における世帯人数の減少、一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみ世帯の増加や8050問題など家庭内での課題の複雑化、地域における近所づきあいの希薄化など家庭や地域における相互扶助機能の低下により、誰もがができる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、住民相互の支え合い体制と多機関の連携による包括的な支援体制づくりが求められています。

5. 課題解決への取組内容（平成29年度） **A**ction

・ 相談、支援体制の充実を図るため、まちの保健室の職員やエリアディレクターの人材育成、スキルアップ及び関係機関との連携体制の強化に努めます。
 ・ 市内全域に地域での支え合いの仕組み作りを広げるため、未整備の地域での組織づくりへの支援を行っていきます。

6. 行政評価委員会による総合評価 **C**heck

まちの保健室やエリアディレクターの機能充実を図るとともに、有償ボランティア等、地域での支え合いの仕組み作りを全市的に展開できるよう支援を行うこと。